

各位

2023年8月10日

会社名 THECOO株式会社

代表者名 代表取締役CEO 平良 真人

(コード番号：4255 東証グロース)

問合わせ先 取締役CFO兼コーポレート本部長 森 茂樹

(TEL. 03-6420-0145)

## 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年8月10日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月10日の2022年12月期通期決算発表時に開示した2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の業績予想を修正することと致しましたので、お知らせいたします。また、特別損失を計上しておりますので、併せてお知らせいたします。

## 1. 当期の個別業績予想数値の修正（2023年1月1日～2023年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	5,200	△490	△490	△490	△236.31
今回修正予想（B）	3,840	△650	△660	△870	△419.45
増減額（B－A）	△1,360	△160	△170	△380	－
増減率（％）	26.1%	－	－	－	－
（参考）前期実績 （2022年12月期）	4,279	△212	△210	△488	△237.37

## 2. 修正の理由

当社は、アイコンとそのファンが集い、アイコンとしての「価値」を提供したいアイコン側のニーズと、アイコンと「つながりたい」というファン側のニーズをマッチングさせるプラットフォームをアプリとして提供しているファンビジネスプラットフォーム事業と、国内外の顧客に対してインフルエンサーを用いた広告施策等の提案及びオンライン広告の運用とコンサルティングを提供するデジタルマーケティング事業の2つの事業を行っております。

通期業績予想に関しては、2023年4月に発覚したデジタルマーケティング事業における不正発注による事案によって、大型発注の減少等の直接的な業績への影響及びセールス人員の急な担当変更などの間接的な影響、また、同事業における案件成約率の低下と提案数の減少が重なったことが主な理由として、これらが影響額の約8割を占め、加えて、影響額の約2割をファンビジネスプラットフォーム事業（旧Fanicon事業）における低調な新規アイコンの獲得状況、ネットの売上計上を適用する個別アプリでのファン数増加等の理由により、前回2023年2月10日に発表の業績予想から売上高を1,360百万円下回る見込みと修正致しました。

コスト面については、デジタルマーケティング事業での人員の再配置や全社での採用計画の見直しを実施致しましたが、一方で、再発防止策の実行および内部統制強化に必要な人員と投資分野である開発部門の人員に関しては、継続して採用を強化する意向です。結果として営業利益は当初の計画を160百万円下回る見込みと修正致しました。

### 3. 特別損失の計上について

当期純利益につきましては、2023年4月に発覚した不正発注を受け、特別調査委員会を設置して事実関係の調査を実施してまいりました。また、同調査の過程で別の不適切な会計処理の疑義が生じたことから、委員の構成を変更して外部の専門家で組成された独立調査委員会にて徹底した調査を実施し、当社は、同委員会より2023年6月26日付で調査報告書を受領しております。この調査に係る費用として当第2四半期に190百万円の特別損失の計上をしております。

なお、上記業績予想の修正に関しましては、本日公表の「2023年12月期第2四半期決算説明会資料」にて詳しくご説明しておりますのでご参照ください。

※上記予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましてはさまざまな不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上